



スコットランドの風

2016年5月20日 駐日英国大使館にて JSA 総会開催決定

5月20日(金)17時からNPO法人日本スコットランド交流協会第4回総会を昨年同様、駐日英国大使館で開催致します。今回の総会も、今のScotlandと日本を繋ぐ方々にゲストスピーカーとしてお越し頂く予定です。総会に引き続き18時から始まる懇親会では、幅広い才能をお持ちのJSA会員の方々によるバイオリンやバグパイプなどの楽器の演奏をお楽しみ頂けます。また、各分野でご活躍する才気溢れる方々やScotlandから帰国された方々等、JSA会員同士の交流の機会としてScotlandの文化を感じながら、華やかで楽しい時間をお過ごし下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。総会開催にあたり、JSA発足以来、ご支援下さっている駐日英国大使館公使 Longbottom 氏へ、近況報告を兼ねご訪問したところ、今後のJSAの活動や方向性という心強いメッセージも頂きました。

英国大使館中庭にて公使 Longbottom 氏と関会長 彫刻/理事ケイト・トムソン作品「親和の小波」



第3回文化講演会と JSA 奨学生帰朝報告会開催



前列左から 穂積氏、片桐理事、児玉氏、関会長、市毛氏、種子田氏、松本氏



上：種子田氏 下：濱田氏

2016年2月13日(土)早稲田大学国際会議場にて第3回文化講演会とJSA奨学生帰朝報告会が開催されました。第1部では、JSA2014年度の第2回奨学金を得てエジンバラ大学大学院 Medieval Literatures and Cultures コースに留学した濱田里美氏にお越し頂き、修士号を取得するまでの充実した留学生活について報告を頂きました。渡英直後にスコットランド独立を決める国民投票が行われ、その歴史的な瞬間に立ち会えたこと、異国での学業や生活で困難な状況にあいながらも、地元エジンバラの温かい方々に支えられ、試練を乗り越えることができたこと、その後もその方々と心の交流が図れたこと等、学業以外にもスコットランドの良さを感じる報告を頂きました。

第1部終了後には、かつて早稲田大学で教鞭をとられ、JSA会員の市毛勲先生から、現在この国際会議場の建物が建っている下から歴史的な遺跡が次々と発掘され、その研究を市毛先生が中心となっておこなわれた興味深いお話をユーモアたっぷりに伺いました。「次回は更に詳しく伺いたい」と参加者の方々からのご要望も頂きました。

第2部では、スコットランド伝統音楽の普及活動にも力を注がれているスコットランドフィドル東京代表 種子田敦子氏を講師に迎え、フィドルやビオラの演奏と共にご講演頂きました。現在もコンサートマスターとして活躍中の種子田氏は、クラシック音楽におけるフィドルの役割や歴史的な背景を楽曲と共に紹介し、また、かつてグラスゴーのScotland Royal Academy of MDにてスコットランド伝統音楽を研修されたことから、特徴あるスコットランド音楽のリズムであるリール、ジグ、ストラスペイを古くから伝わる舞曲や民謡を交えて解説、最後に全員で「蛍の光」を原曲で歌い閉会しました。講演会後は、講師の種子田氏を囲み、盛大なディナーパーティーが開催されました。また今回は、JSA後援で6月にエジンバラからオルガニストの来日で開催されるインターナショナル・オルガンフェスティバル・イン・ジャパン 2016【詳細はP7参照】の主催者で、世界的に有名なオルガニスト児玉麻里先生にも特別に



会長 関妙子

楽しい記事を満載した第6回 Newsletter を皆様にお届けできることを大変嬉しく思っております。これも、会員の皆様が JSA の活動に活発に参加してくださったお蔭と、心より感謝しております。2月23日、24日のスターリング大学での Japan Week には、6名の JSA の会員の方が参加されました。名誉会員の在エディンバラ日本国総領事北岡氏からも、例年のように大量のお寿司の差をいただきました。4年前に初めて Japan Week を開催した時には、これほど続くとは想像もしていませんでしたが、後援主体である JSA の発展とともに、開催するたびに大きくなっていることに感慨無量です。5月20日の駐日英国大使館での総会開催も決まりました。また、来る6月に Scotland から演奏家を迎えて開催される International Organ Festival in Japan 2016 の後援団体にもなりました。このように JSA の活動が広がっていくのは、社会の多方面で活躍なさっている会員の方を擁しているからこそと思っています。会員の皆様に、積極的に活動に参加していただくことにより、JSA がさらに発展することを確信しています。日本と Scotland の間の Bridge は、しっかりと架けられました。これからは、皆様とともに、この橋を更に幅広く強固な橋に、そして多くの人が渡りたくするような楽しい橋にするよう努力していく所存です。皆様と手を携えてその楽しい橋を渡ることを夢見ています。

JSA 名誉会員・在エディンバラ日本国総領事 北岡元氏



一昨年9月18日の独立住民投票で、独立賛成派が反対派に敗北してからほぼ1年半。スコットランドにとって、何という凄まじい月日が流れたのかと思う。SNP（スコットランド国民党）の党員数は4倍増！昨年5月の英国総選挙ではスコットランド選出の59議席中56議席を SNP が独占。対する労働党は1議席に転落。「これは津unamiではない。根絶やしだ！」と友人のスコットランド人が喝破した。5月のスコットランド議会選挙でも SNP の単独過半数は確実。「SNP は敗者のはずなのに、一体これは何なんだ？」というのが正直な気持ちである。そして6月には英国が EU への残留をかけて国民投票に打って出る。スコットランドが残留を選択するのは確実。さて英国全体では？実は分からなくなって来た。ジョンソン・ロンドン都知事のようなカリスマが離脱派に身を投じたためだ。「イングランドの都合で大切な EU の外に引きずり出されるくらいなら、いっそのこと独立だ！」という声が高まる一方だ。大好きなスコットランドが今でも燃えている！嬉しい気もするが、同時に独立賛成、反対であまりに深く分裂してしまった「第二の祖国」に対する自分の想いは、実は複雑である。

Japan week 2016

First Day 22 Feb

今年で4度目の開催となるスターリング大学 Japan Week 2016 イベント初日、その幕開けを彩ったのは、当会会員であるヴァイオリニストの山内達哉氏とヴォーカリスト溝渕俊介氏、ピアニスト小堺香氏によるコンサートでした。山内氏作曲作品を含む日蘇両テイストを織り交ぜた多彩な演奏とユーモアあふれるトークで Stirling の老若男女を魅了されました。特にプログラムの締めを飾った山内氏作曲、溝渕氏作詞の“the Stirling Castle and its Warriors”（「スターリング城とその戦士たち」）は、かつてスターリングブリッジの戦いでイングランド軍と戦い抜いた勇敢なスコットランド国内屈指の“強

を誇ったと言われる、山内氏の故郷九州の侍の姿を重ね合わせた作品であり、まさに日本とスコットランドに橋を架ける Japan Week 2016 に相応しい幕開けとなりました。また、当会会員の写真家の佐藤悠氏の写真展、同じく会員の書道家堀内景子氏の作品、跡見女子学園大学より寄贈の日本刺繍「清爽」を含む展示が開始され、キャンパスを往く人々の足を止めました。佐藤氏は2015年に初めてスコットランドの地を踏んだ際のご自身の経験をもとに、「スコットランドの地で生きる人々の生活と想い」を切り取った人物写真を展示されました。堀内氏は翌日のパフォーマンスに先駆け、同氏が信条とされる「書道を

「楽」を含む三点の独創的な書を展示されました。（橋本昂広）



お寿司を楽しむ参加者の皆さま



生け花を鑑賞する参加者の皆さま



McCormac 学長



Gardner 副学長



Ashmore 教授



ヴァイオリニスト
山内達哉氏



跡見学園女子大学より寄贈された蓮を描いた日本

Second Day 23 Feb

23日は日本語教室、書道のパフォーマンス、習字と折り紙のワークショップ、日本のアニメと文化についての講演会が開催されました。スターリング大学で日本語授業の講師を務める JSA 会員石川さんが日本語教室を担当しました。この日の日本語教室は大学生だけでなく、高校生からお年寄りまで幅広い年代の人々が日本語を学びました。早稲田大学と跡見学園女子大学の学生も参加し、ペアワークのお手伝いをしました。書道の会場には席が足りなくなるほど大勢の人が集まりました。同じく会員の書道家堀内景子さんは参加者の目の前で力強く「鍛錬」「for freedom」「進化」の文字を披露されました。また、リクエストを受け「木」「瓶」「雨」などの漢字も披露されました。その後に行われた習字のワークショップでは、会員である光景子さん指導の下、実際に参加者が筆を取り習字を楽しみました。初めて習字を経験する方がほとんどでしたが、お手本を参考にみなさん上手に漢字や平仮名を書きました。同じ時間帯に行われた折り紙のワークショップでは5つの机に分かれ、日本の学生が折り方を指導しました。

鶴、紙風船、手裏剣、かぶとなどを折り、その場で遊ぶ人もいました。みなさん折り紙に熱中し、終了時刻を過ぎて楽しんでいました。日本のアニメと文化についての講演会には、在エディンバラ 日本国総領事館総領事の北岡元さんがご出席されました。講演後には昨年同様、領事館で料理を担当されている浜崎祐樹さんによるお寿司の実演がありました。今年は巻き寿司、握り寿司、押し寿司の作り方を披露されました。スターリングでも人気がある日本のお寿司の実演にみなさん興味津々でした。その後講演会の出席者を対象にお寿司が振る舞われ、日本の伝統料理を堪能しました。(志田有加)



書を指導する光氏



左から：石川氏、Kerry Bryson 氏、学長、浜崎氏、Ashmore 教授、北岡総領事、石神主席領事



堀内景子氏



光恵子氏

イベント最終日 24日は、草月流師範最高位、「理事」でおられる Deborah Hathorn 氏による生け花のデモンストレーションに始まり、女性を中心に多くの方々が出席されました。Hathorn 氏は計六本の生け花の実演をされるとともに、仏教的自然観を背景にする日本の生け花と西欧の flower arrangement との美的相違について分かり易く解説をされ、同氏の日本文化全体への深い知識と理解が垣間見えました。続く清水健氏による講演、“Sherlock Holmes, James Bond and British Intelligence in the Post War Japan”では、時代を問わず世界中で愛されている英国文学、映像文化であるシャーロック・ホームズやジェームズ・ボンドが、英国諜報部の活動が制限されていた戦後の日本で果たした知られざる役割に解説されました。



折り紙教室



日本語教室



清水健氏



Benneth Esiana 氏 (JSA)



イベントに参加した日本人学生達



茶道の風景

清水氏の綿密な調査と鋭い洞察、そこから導き出される仮説は、さながらシャーロック・ホームズの謎解きを目にしている様であり、手に汗握る展開に聴衆が引き込まれました。

また、Mio Shapley 氏、Hiromi Moffat 氏、Rumi Mizukoshi 氏による茶の湯体験も大変好評を呼びました。会場に足を一歩踏み入ると、ほのかな香の匂いと着物姿の同氏らに礼をもって迎えられ、まるで本当に日本の茶室を訪れたような空気感に包まれました。Mizukoshi 氏の三味線の音色が響きわたる中、Shapley 氏と Moffat 氏による実演及び体験指導行われ、抹茶が手作りの菓子を添えてゲスト全員に振る舞われました。味や香りだけでなく、礼儀作法、所作の様式美も含めて、まさに五感すべてで味わう「茶の湯」を体験できた素晴らしいイベントをもって、Japan Week 2016 は幕引きとなりました。(橋本昂広)

Japan Week 2016

Message from Suzie Huggins, Head of Events Japan Week



Picture the scene: a man in black walks onto a darkened stage. Not a light can be seen. Suddenly, lights erupts and the haunting sounds of Tatsuya Yamauchi's violin fill the air. In suitably dramatic fashion, Tatsuya Yamauchi, with Shunsuke Mizobuchi on vocals and Kaori Kosakai on piano, launched Japan Week 2016 with a concert full of soaring melodies, comic dialogue and modern musical interpretations. Oh, and don't forget the sparkly suits! As well as welcoming Tatsuya and friends to campus, we were delighted to hold other new events: Professor Darren Ashmore of Yamanashi Gakuin University delivered a fascinating talk on *Anime and Pop Culture*, while Deborah Hathorn "Riji", demonstrated the art of Ikebana. In beautiful symmetry, we displayed photographs of Japan and Scotland, taken by a Scotsman and Japanese man respectively.

We also welcomed back some old friends: Takeshi Shimizu explored the connections between *Sherlock Holmes, James Bond and British Intelligence*, Keiko Horiuchi gave a dramatic calligraphy performance and Keiko Hikari coordinated a very popular calligraphy workshop.

A heartfelt "thank you" to our many friends and supporters, and to the Japan Scotland Association.

Japan Week 2016 を振り返って

堀内景子さん(書道)

書作品の展示と書のパフォーマンスを致しました。

大書を3枚、半紙等に30枚程をお話しながら書き、途中笑いも起こるような和やかな雰囲気、書の楽しさ、表現、筆等に大いに関心を持っていただけたと思います。

光景子さん(書道家)

私は二日目の書道実技を担当いたしました。道具が限られていますので申込み制をとり26名程の方が好きな字体のお手本を見てチャレンジされました。

跡見の学生さんのお手伝いも加わり終始賑やかな教室でした。



パフォーマンスをする堀内氏

山内達哉さん(ヴァイオリン)

冬のスコットランド公演は初めてでしたが、厳しい寒さ以上に、いつも温かく迎えてくださる皆様に感動いたしました。

そして、音楽を通して国際交流が出来る芸術の力を改めて感じ、また、様々な風景や文化を肌で感じ、新たなインスピレーションを頂きました。

貴重な機会を誠にありがとうございました。



Japan Weekに参加したJSA会員一同
左から：前原氏、光氏、小塚氏、山内氏、堀内氏、溝淵氏

佐藤悠さん(写真)

私は、昨年7 Week General English Language Programに参加し、その後も3ヶ月程スコットランドに滞在しました。その過程で最初は、漠然としていたスコットランド像が徐々に具体化してきました。スコットランドは、単に一国を構成するただの地方ではなく、一つの国としてのアイデンティティーを持っていることを強く実感しました。私が出会った人々は、スコットランドを愛し、スコットランド人であることに誇りを持って暮らしていました。このような感覚に乏しい私には、このことにとっても感銘を受けました。日本ではこのような意識を感じることはあまりないように思われます。このように感じて撮った写真を、今回のJapan Weekで展示し、現地の方々に観てもらいたいと思い参加させて頂きました。様々な感想を直接聞くことができとても有意義な時間を過ごすことができました。これを最初のスタートとしていき、



「スコットランドの地で生きる人々の生活と想い」をテーマに写真展を催した佐藤悠氏

中部支部開設のご案内

この度、中部支部開設を皆様にお知らせできることを本当に嬉しく思っております。支部長となられる Gerry McLellan 氏を簡単にご紹介させていただきます。McLellan さんは Scotland の国民的詩人 Robert Burns の生家の近くの出身で、Scotland の伝統、文化に精通され、Burns Night, Ceilidh (ケーリー、Scottish Dance の party) などの EVENT に親しんでこられ、Scotland 文化、伝統を日本に伝えたいという熱心なお気持ちを

中部支部長 Gerry McLellan よりご挨拶

JSA の皆様、初めまして！JSA の中部支部新設にともない、支部長に任じられたマクレランと申します。

スコットランドと日本。私にとってかけがいのない二国のさらなる絆のために一役を担うことを許され、光栄に思うと共に、身のすくむ様な畏怖すら感じています。

両国の絆のために、またスコットランドを広く知ってもらうために、何か行動したい、と常々思っていました。日本とスコットランド両国は共通して、奥深い歴史と豊かな文化

民族衣装、楽器、食文化等々、素晴らしい文化的シンボルは数えきれません。スコットランド国での日本文化の理解、日本国でのスコットランド文化の理解を向上させる事で、両国の文化をお互い豊かなものにできると信じています。日本とスコットランド両国にかけられたこの橋が、より強力でより素晴らしい友好関係を築き続ける事を心から願っています。皆様と近々お会いできる事を心待ちにしています。

【中部支部】名古屋市名東区猪子石 2-709

20年以上に渡り日本で生活され、日本人の奥様とお二人のお子様と共に名古屋で楽しい家庭を築かれ、日本文化にも深い理解をお持ちです。名古屋市内の大学で教壇に立ちながら、毎年夏にグラスゴー大学などで教鞭をとっています。日本の学生がスコットランドに留学する際のサポートを通じて、日本とスコットランドの人や文化の交流を目指しています。JSA がその活動を広げていく上で、このような力強い方を得たことに感謝しています。(JSA 会長 関妙子)



マクレラン氏とご家族

東京本部活動報告

留学説明会開催

日時：12月6日(日) 15:00~17:00
場所：早稲田大学国際会議場セミナールーム

12月6日、早稲田大学国際会議場セミナールームにて、JSA として初めての取組となる英国・スコットランドの大学院留学相談会を開催しました。相談会では、

いて紹介した後、スコットランドの大学院に進学された3名もの演者の方から大学院留学に至った経緯、スコットランドの大学院を選んだ理由、そこでの院生生活、大学院留学後の就職活動等、具体的な経験を交えて語っていただき、大盛況のとても充実した相談会となりました。

学術的なネットワークを活用した大学

に対する貢献活動の一つです。このような活動を通じ、世界に羽ばたける次世代を少しでも増やしていきたいと思



留学説明会の風景

Scottish Kitchen 開催

日時：第1回 12月12日(土)
第2回 3月12日(土)

場所：JSA 東京本部
参加人数：約20名

東京本部開催の第1回のスコティッシュキッチンには、スコットランドフィドル東京代表の種子田氏が、グラスゴーで学んだスコットランドの伝統的なクリスマス料理を当時のエピソードを交えながらご紹介しました。前菜から日本風ハギスまで合計9種類のお料理を2時間程で手際よく調理。体に良い食材など「食へのこだわり」をお持ちの種子田氏の奥深いトークに参加者全員が魅了されました。

第2回は、事務局の齊藤が、実際にスコットランドから食材を取り寄せて、簡単にできるスコットランドの家庭料理をご紹介しました。これからも、スコットランドの美味しい食材やお料理を多数ご紹介する予定で



指導する種子田氏



完成した料理を前に記念撮影する参加者

パブミーティング

日時：1月15日(金)
場所：広尾

2016年1月15日、第一回 JSA パブミーティングを開催いたしました。スコットランドの美味しいチーズを囲み、異業種の方々と、様々な情報交換をしまし

への留学経験者が多かったことから、懐かしい話に花を咲かせ、スコットランドで過ごした素敵な時間を振り返ることができました。(安戸)



和やかな雰囲気のパブミーティング

九州支部活動報告

宮崎青年会議所主催の『世界フェスティバル』に宮崎市民の方々それぞれの国を理解していただくために20の国が参加しました。

JSA も宮崎日英協会に協力してニュースレターを置かせて頂き 訪れる方々にニュースレターをお渡しすると共にスコットランドの良さをお伝えしまし



参加メンバー (左から2番目 前原支部長)

関西支部活動報告

スコットランド料理教

日時：10月18日(日)
12月6日(日)
場所：夙川公民館(兵庫県西宮市)



モード・ラムゼイさんのアドバイスを適宜受けながら、英語レシピを見つつ自分たちで作るというスタイル。同じレシピなのに、各グループで少しずつ違う出来栄となり、それを先生が評価。「料理に失敗というものはない！新しい料理があるだけだ。」というモードさんの言葉に励まされ料理を楽しんでいる。

茶話会開催

日時：12月26日(土)
場所：Café ハッセルハウ

会員の宝塚のお洒落なCafé ハッセルハウスで、「スコットランドを語ろう！」を開催。フリーなおしゃべりを交わし、それぞれの体験談で盛り上がる。

ウイスキーセミナー開

日時：11月22日(日)
場所：サントリー山崎蒸溜所

サントリー山崎蒸溜所で、本来は専門店などが対象のレクチャーをJSAが受講。講師の福土さんの実務経験に基づいた懇切な説明は圧巻だった。



英会話教室開催

日時：11月14日(土)
1月16日(土)
場所：Main Bar(兵庫県芦屋市)

モード・ラムゼイさんを講師に、飲み物片手に和やかな雰囲気の中で、文化や習慣の違いなども学ぶ。



講演会開催

日時：3月19日(土)
袁輪陽一郎さん(ニッカウキスキー・ウイスキーアンバサダー)講演会。

関西ハイランドゲームズ参

日時：3月27日(日)
関西ハイランドゲームズ(神戸・三宮)に
T S A レイで参加オス

関西支部のイベント紹介

JSAウイスキー倶楽部(10月31日、2月20日)：ここ数年途絶えていた関西支部のウイスキーの集まりを、運営スタイルを変えて復活。今回から、会員でスコッチ文化研究所の「ウイスキープロフェッショナル」の小林さん、山形さんを講師としてテイストの会を開催。第1回、第2回は英会話でもお世話になっている川北さん(会員)のMain Barで実施。第1回はシングルモルトの飲み比べがテーマ。蒸留所とその立脚する6地域の特徴を製造方法・熟成環境・原料(特に水)などをもとに考察し、その違いを宝蔵できた

第2回はシングルモルトの飲み方による違いがテーマ。3種類のシングルモルトを、それぞれストレート・水割り・ハイボールの飲み方で、つまり9通りの飲み比べの中から自分好みの飲み方を体験した。終わった後のアンケートでは、説明がわかりやすく、普段疑問に思っていたことが解明できたなどと、ウイスキーに詳しくない人にも好評だった。今後も別の切り口での飲み比べ体験を企画し、スコッチウイスキーの楽しさを広げてゆく予定である。



山形氏と小林氏

会員紹介

関西スタッフ 中川ますみ

スコットランド、美しい国、とても親切な人々、数年前、仕事で忙しい生活を送っていた時、唯一の楽しみは、年末の休暇を利用してスコットランドへ訪問する事でした。



一年を通して比較的静かな時期でしたが、胃に染みわたるウイスキー、遙か彼方へ響きわたるようなバグパイプの音色、凜とし壮大な美しさ、うちに秘めたパワーをもつたくさんのお城。この国に訪れるたびに心が洗われるようでした。そして、日本でのスコットランドのあらゆる活動へ参加させてい

関西支部の今後の活動予定

- 4月10日(日) スコットランド料理教室・春の料理
- 5月14日(土) 英会話教室
- 5月22日(日) からすま京都ホテル「スコットランドナイト」(後援)(以下は計画中、日程未定)
- 5月 アフタヌーンティーの集い 砂古さん(英国菓子研究家)講演会
- 6月 武部さん講演会、関西支部総会
- 7月 スコットランド料理教室・夏の料理
- 8月 JSAウイスキー倶楽部
- 9月 英会話教室

いただきました。ぜひとも、近いうちに、できれば夏頃に訪問できればと思っています。ハギス、とても愛嬌あるスコティッシュアクセントが懐かしいです。(中川ますみ)

Scotland からの来訪された方

Ms Maria Cid Castilla

2015年10月21日～30日: Stirling 大学 General English Language Course の Director、Maria Cid Castilla さんが来日されました。Stirling 大学との提携を更に密にするために、早稲田、跡見、上智、中央、関西学院の各大学を訪ねら

2013年から Stirling 大学で Course に携わり、多くに日本人学生はもとより、Course に参加された JSA の会員の方々もお世話になっています。マリアさんの温かい配慮にどれほどの人々が救われたとでしょう。次回お越しの折には JSA で歓迎会を開きたいと思っています。

Internationalisation Manager, University of Stirling Maria Cid-Castilla

In my role as Internationalisation Manager at the University of Stirling, I am responsible for the development and management of short term programmes of study for international students. These include undergraduate *Study Abroad* programmes, the *International Summer School* and bespoke English Language courses.

In October 2015, I had the opportunity to travel to Japan and meet with six prestigious Japanese Universities and also attend *UK Education Fairs* in both Tokyo and Osaka. It was an extremely productive visit and I particularly enjoyed promoting our wide range of programmes and experiencing first hand the hospitality, enthusiasm and interest of partner Institutions and prospective students.

I would like to express my sincere appreciation to Dr Taeko Seki for her time and warm welcome during my visit.



ラグビー日本代表 VS スコットランド代表の対戦決

ラグビー日本代表とスコットランド代表のテストマッチが6月18日、豊田スタジアム(愛知県)及び6月25日、味の素スタジアム(調布市)にて開催されることが決まりました。これに関連し2019年に日本で開催されるラグビーオリンピックでは、スコットランド代表チームの事前キャンプ地に長崎市が選ばれ、同市ではラグビーワールドカップ(W杯)2019長崎市キャンプ誘致委員会を発足させました。同市はこれに関連した交流事業として、ラグビー教室や若い選手の交換留学のほか、歴史や食、文化を通じたイベントなど

カーリング スコットランド代表チーム

2015年12月19日カーリングのワールドツアー、軽井沢国際選手権が、長野県の軽井沢アイスパークで行われ、スコットランドの Team Murdoch が予選リーグ1位で通過し準決勝、決勝と進出、カナダのカルガリーのチームと戦い、延長の末4-3で、見事優勝を飾りました。スコットランドは同大会に初めて参加し、会場の充実した設備に大変感銘を受け、トレーニングキャンプでは是非日本へ再び来日したいと意気込みを語りました。大会の様子はBS朝日・ユーストリームで配信されました。



スコットランド代表チーム

JSA 後援 児玉麻里氏主催コンサート

テーマはスコットランドとの交流: JSA 会員特別価格でチケット販売

世界的に有名なオルガニスト児玉麻里氏主催の第26回インターナショナル・オルガン・フェスティバル・イン・ジャパン 2016が東京と仙台で開催されます。エジンバラの聖マリア大聖堂主任オルガニストで音楽ディレクターであるサイモン・ニミンスキー氏が待望の来日。伝統的なオルガン曲だけではなく、スコットランド民謡「蛍の光の原曲」変奏曲など、この日のためだけに演奏されるスコットランドの伝統的なカテドラル音楽をお楽しみ

仙台公演では、JSA 会員で昨年 JSA 公認 CD を発売したバグパイプ奏者 Gerald Muirhead 氏も演奏。JSA は後援団体として、このフェスティバルを応援しています。チケットは、JSA 会員特別価格で先行販売致します。お問合せ: info@jpn-scot.com

6月15日(水) 神奈川県民ホール
4000円(全席自由・税込) ⇒ 会員特別価格 3600円
6月17日(金) 東京カテドラル 関口教会聖マリア大聖堂
5000円(全席自由・税込) ⇒ 会員特別価格 4500円
6月21日(火) 仙台カテドラル
3000円(全席自由・税込) ⇒ 会員特別価格 2700円

Columns Black and White~Edinburgh Now~ 片桐宏典

北の街アバディーンは Grey City といわれる。いつも曇り空で寒いという訳でなく建物のほとんどが白い御影石で出来ているからだ(ちなみにスコットランドの歴史的建築には黄色や赤の砂岩が多い)。その大部分は街の真ん中にあるルビスローという石切場(Rubislaw Quarry)から切り出された。当時は産業革命の勢いもありヨーロッパはもとより、ニューヨークの街並、オースト

リ時代の変遷とともに建築は天然石からコンクリートに、アバディーンはオイルの街として華々しく生まれ変わる。その陰で200年以上も続いた石切り場はひっそりと閉鎖され、まわりにはオフィスビルや民家が建て込み、跡地には雨水が溜り、小さな湖となって人々から忘れ去られようとしていた。

しかし、2012年に Hugh Black 氏と Sandy White 氏が石切場を共同購入したことで突然また脚光を浴びる。彼らは子供の頃、石切り場の近辺で遊び、人々の働く姿を日常的に眼にして育ったので、この歴史ある場所を捨て置くに忍びなく、退職金をはたいて石切場を買いとり、そこにヘリテージセンターを作って未来の観光地にしようとして立ち上がった。彼らは流れ込む雨水をポンプで減らして水位を下げ、周囲を整備し現代的なビジターセンターを建て、環境と文化を考える施設を計画している。White 氏は残念ながら昨年亡くなったが、Black 氏がこの大プロジェクト実現に向けて、いまでも一人奔走している。



Rubislaw Quarry の前で Hugh Black 氏とケイト・トムソン

この度は日本スコットランド交流協会奨学生という名誉ある奨学生として採用していただき、大変感謝申し上げます。私は現在、スターリング大学の MSc International Business にて学んでおります。学生 22 人・10 各国の国籍からなる、大変国際色豊かな環境で、グループプロジェクトを中心とした課題に取り組んでおります。様々な国籍の友人と、国際経済情勢やビジネスについての discussion により、幅広い国際的視野を養うことができました。9 月初旬にはス

の、実践的なプロジェクトに参加いたしました。チームで働くことの大切さや多様性あふれる職場環境でのコミュニケーションスキルの向上など、実際の職場環境を意識した課題に取り組みました。また、学期末の休暇を利用して友人と食事や、歴史的建造物を巡る小旅行にも出かけました。授業面だけでなく、生活面での友人との交流は貴重な思い出です。ますます忙しくなることが予想されますが、皆様方にきちんとした報告ができますよう、残りの大学院生活も勉学に励む所存です。



池田絵里香さん(右)

JSA 奨学生募集のお知らせ

募集人数：毎年 1 名 奨学金：30 万円

応募方法：JSA の HP より募集要項をダウンロードし、申請書類一式をご郵送ください。

締め切り：5 月末日必着 http://www.jpn-scot.com/jsa_scholarship_jpn.html

お知らせ

JSA の会員の方にこの夏の魅力的な SCOTLAND での英語研修旅行へのお誘い

スターリング大学夏期英語研修(4 週間：2016 年 8 月 1 日～26 日) 締め切り：5 月末

4 週間の英語コースで英語の習得を目指したい方、どうぞご参加ください！

EU で最も美しいと言われるスターリング大学で Campus Life を楽しんでください。Campus 内に 9 ホールの Golf Course、Swimming Pool, テニスコートなどがあり、スポーツ設備も充実しています。

16 歳以上であればどなたでもご参加頂けます。

*英語コース： 上級、中級、初級とレベルに併せて参加できるため、英語能力は問いません。カリキュラムには、週末のエディンバラ・

グラスゴー(一日)観光、ネス湖(一泊)旅行、スコットランドダンスパーティー等も含まれています。

*寮：すべて個室で、各部屋バス・トイレ付、キッチン共有で自炊です。

*費用：約 2,390 ポンド 学費、寮費、週末旅行(ネス湖 1 泊も含め)、その他の EVENT 代すべて含みます。

Flight 代と食事(自炊で、1 週間 3 食で 5000 円～6000 円程です)は別途支払いが必要です。

興味のある方は気軽に下記まで連絡ください。会員のご家族、ご友人方もご参加いただけます。2～3 週間の参加も可能です。

関妙子 (Stirling University, Honorary Doctor) 〒161-0033 新宿区下落合 3-12-28-1401 TEL/FAX 03-5988-8785

昨年コースに参加された西田多恵さん(83)のコメント

2015 年 8 月 2 日からの 4 週間、スターリング大学の豊かな自然環境の中で、本場の英語を学びたく参加しました。授業のグループワークを通じて、伸び悩んでいたヒアリング力や会話力を少し向上させることができました。また、不慣れな OA 機器の操作では四苦八苦でした。教室でのプレゼンテーションで、”Excellent”と褒められたのと、修了式で修了証を手渡されたときは、とても嬉しかったです。(帰国直後、流れるように会話している夢を何度



東京本部イベントのお知らせ

4 月 9 日(土) 第 3 回スコティッシュキッチン開催(詳しくは、HP でご確認下さい)

5 月 20 日(金) 17 時～19 時半 第 4 回総会

6 月 6 日(月) 慶応義塾大学留学フェア 2016 スコットランドの大学ブースに説明団体として参加

6 月 15 日(水) JSA 協賛 第 26 回国際ナショナルオルガンフェスティバル・イン・ジャパン 神奈川県民ホール 19 時開演

6 月 17 日(金) 同 東京カテドラル関口協会聖マリア大聖堂 19 時

◎英会話教室 Discussion in English(毎月第 2 土曜日 17 時～18 時半 新宿区 関会長宅)

◎一般英会話(毎月第 3 土曜日 15 時～16 時半 大田区 山口副会長宅)

JSA にご寄付いただいた方々

西田 多恵様	1 万円
種子田 敦子様	5 千円
小林 正典様	5 千円



日本スコットランド交流協会



編集後記：本誌を通じて、日本とスコットランドの両国に絶ゆることなく懸け橋が築かれ、輝かしい未来を共に歩んでいくことを願っております

- 東京本部 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-28-1401, Tokyo Headquarters: 3-12-28-1401 Shimo-ochiai, Shinjuku-ku, Tokyo 161-0033
- 関西支部 〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 2-5-3-906, Kanai Branch: 2-5-3-906 Shin-senri, Higashi-machi, Toyonaka-shi, Osaka 560-0082
- 中国支部 〒730-0814 広島県広島市中区羽衣町 13-12, Chugoku Branch: 13-12 Hagoromo-cho, Naka-ku, Hiroshima 730-0814
- 九州支部 〒880-0032 宮崎県宮崎市霧島 2-23-2, Kyushu Branch: 2-23-2 Kirishima, Miyazaki-shi, Miyazaki 880-0032
- 東北支部 〒030-0196 青森県青森市合子沢山崎 153-4 青森公立大学 香取真理研究室内 香取薫, Tohoku Branch: Kaoru Katori, Prof Mari Katori's office, Aomori public University, 153-4 Yamazaki, Goshizawa, Aomori-shi, Aomori 030-0196
- 中部支部 〒465-0021 名古屋市長久区猪子石 2-709, Chubu Branch: 2-709 Inokoishi Meito-ku, Nagoya-Shi 465-0021